

<クロストーク>

アートのは、社会的マイノリティーの 人権課題に何ができるか？

— 演劇ワークショップからみえてきたこと —

性的マイノリティーをはじめ、さまざまな社会の中のマイノリティー。
個性を認め合い、お互いに豊かに生きるために、
さらに「アート」の分野は何ができるのかを一緒に考えてみませんか？

12月21日(金) 19:00~21:00

EHILA イベントスペース

(宮崎市江平西1丁目5番11号江平ビル104 みやざき子ども文化センター事務所となり)

<発言者>



永山智行氏

劇団こぶく劇場代表・演出家・劇作家
『きみのなまえ』原作者



山田健二氏

LGBT 交流会
「レインボービュー宮崎」代表



かみもと千春氏

劇団こぶく劇場
シンガソングライター

参加無料

●19:00~19:30

'18年に行われた朗読劇ワークショップ「演じてみよう!『きみのなまえ』」
を写真と共にふりかえります。

●19:30~21:00

<クロストーク>

「アートのは、社会的マイノリティーの人権課題に何ができるか？」
発言者の方と会場のみなさんで一緒に語り合しましょう!



主催・申し込み先:NPO 法人みやざき子ども文化センター

電話 0985-61-7590 Eメール center@kodomo-bunka.org

(お名前、お電話番号をお知らせください。また、手話通訳、要約筆記、
車いす席等が必要な場合には事前にご連絡ください。)



演劇台本「きみのなまえ」 上演しませんか？

演劇台本『きみのなまえ』

(作・永山智行)

性的マイノリティーをはじめ、さまざまな
社会の中にいる”少数者”たち。
個性を認め合い、お互いに豊かに
生きることを問いかけるストーリー。



きみのなまえ

ここは町民文化ホールのホワイエ。

来月に迫った町民ミュージカル「しあわせ」の出演者たちが、
練習のため集まってくる……………はずだったのに……。

実行委員長の福田の個性をめぐって、ミュージカルはゆらぎはじめる……

それぞれの事情を抱えてここにやってくる彩り豊かなひとびと。

そんなひとたちが織りなすハーモニーは、いったいどんな歌を響かせるのだろうか。

この台本を使って

演劇作品としても発表できるほか、学校やグループでの「人権課題」について学びたい時におすすです。登場人物の役を通して、さまざまな人の立場に気づき、個性を認め合い、互いに豊かに生きていくために、一人一人に何ができるのかについて考えるツールとしての利用ができます。

<登場人数> 18役 <上演時間> 約40分程度 <使用料> 無料

<利用についてのお問合せ>

宮崎県人権啓発推進協議会(宮崎県人権同和対策課)

電話:0985-32-4469

NPO 法人みやびき子ども文化センター

電話:0985-61-7590 Eメール: center@kodomo-bunka.org

<http://www.kodomo-bunka.org>

台本のデータはHPから
ダウンロードできます。

